

(参考)

女子差別撤廃条約実施状況第6回報告統計資料一覧

番号

(日本女性の現状(2)人口関係)

- 1 総人口
- 2 出生数、出生率及び合計特殊出生率
- 3 老年人口(65歳以上人口)
- 4 世帯主の年齢階級別にみた60歳以上の女性の単独世帯数の構成割合

(日本女性の現状(3)教育関係)

- 5 進学率
- 6 学校管理職への女性の登用状況

(日本女性の現状(4)就業関係)

- 7 労働力人口、就業者数等
- 8 年齢階級別労働力人口比率
- 9 平均勤続年数の推移
- 10 1人当たりきまって支給する現金給与額及び所定内給与額

(第2条関係)

- 11 人権擁護委員数(過去5年)
- 12 強姦、強制わいせつに関する統計
 - 1) 強姦、強制わいせつの認知件数
 - 2) 刑法犯(強姦、強制わいせつ)通常受理・処理人員
- 13 同和対策・地域改善対策事業関係予算(国費)の状況
- 14 アイヌ人口(2006年)
- 15 在日韓国・朝鮮人の外国人登録者数(2004年)

(第3条関係)

- 16 障害者数

(第4条関係)

- 17 国の審議会等における女性委員
- 18 国家公務員に関する統計
 - 1) 国家公務員I種採用者に占める女性の数、割合
 - 2) 国家公務員の課長クラス以上への女性の登用状況
- 19 地方公共団体の審議会等における女性委員
- 20 男女共同参画社会に関する世論調査
 - 1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
 - 2) 男女の地位の平等感

(第6条関係)

- 21 人身取引に関する統計
 - 1) 人身取引事犯の現状
 - 2) 人身取引の被害者の実態(2005年)
- 22 婦人相談所・婦人相談員に関する統計
 - 1) 婦人相談所・婦人相談員・婦人保護施設の数
 - 2) 婦人相談所における人身取引被害者の一時保護実績
 - 3) 婦人相談所・婦人相談員の受付件数(新規・再来別)
 - 4) 婦人保護施設の入所人員・退所人員・在所人員・入所延人員・職業訓練の状況

- 23 売春関係事犯の検挙状況（件数、人数）
- 24 売春防止法違反通常受理・処理人員
- 25 売春関係事犯に関与した外国人女性の国籍・稼働先別状況（人）
- 26 退去強制手続を執った不法就労外国人のうち「売春」に従事していた者の数
- 27 わいせつ物頒布事犯等の検挙状況
- 28 コンピュータネットワークを利用したわいせつ物頒布事犯等の検挙状況（件数）
- 29 児童買春・児童ポルノに関する統計
 - 1) 児童買春・児童ポルノ禁止法による検挙状況
 - 2) 児童買春・児童ポルノ禁止法違反通常受理・処理人員

（第7条関係）

- 30 衆参両議院における女性議員数の推移
- 31 衆参両議員選挙における女子の参画状況
- 32 女性の大員（歴代の女性の大員）
- 33 女性の副大員・大員政務官（2002年以降）
- 34 女性裁判官数
- 35 女性検察官数
- 36 司法試験合格者数
- 37 国家公務員の在職者数に占める女性の数、割合
- 38 地方議会における女性議員数
- 39 地方公務員の課長級・係長級以上への女性の登用状況（一般行政職）

（第8条関係）

- 40 国際機関等への日本女性の参画状況
 - 1) 主な国際機関への日本人女性の参画状況（各年1月1日現在）
 - 2) 国連事務局における日本人職員に占める女性の比率（各年6月30日現在）

（第11条関係）

- 41 規模別ポジティブ・アクションの取組状況
- 42 男女別育児休業取得率

（第12条関係）

- 43 人工妊娠中絶実施件数・率（女子人口千対）

（第14条関係）

- 44 農業就業人口等に占める女性の割合の推移
- 45 農業委員会、農協、漁協への女性の参画状況の推移

（第16条関係）

- 46 配偶者からの暴力（殺人、傷害及び暴行）の検挙状況（全国）
- 47 婚姻関係事件終局件数の総数及び夫からの暴力・精神的虐待を理由とする妻からの申立てによる婚姻関係事件終局件数
- 48 離婚申立て事件終局件数の総数及び夫からの暴力・精神的虐待を理由とする妻からの申立てによる離婚申立て事件の終局件数
- 49 （妻が申し立てた）婚姻関係事件（終局事件）における申立人年齢別申立動機（2005年）

(日本女性の現状(2)人口関係)

1. 総人口

	総人口(1,000人)		
	総数	女	男
2002年	127,435	65,183	62,252
2003年	127,619	65,315	62,304
2004年	127,687	65,392	62,295
2005年	127,768	65,419	62,349
	(100.0%)	(51.2%)	(48.8%)
2010年	127,473	65,541	61,932
	(100.0%)	(51.4%)	(48.6%)
2025年	121,136	63,069	58,068
	(100.0%)	(52.1%)	(47.9%)
2050年	100,593	53,068	47,526
	(100.0%)	(52.8%)	(47.2%)

上段：総務省調べ
下段：厚生労働省推計

2. 出生数、出生率及び合計特殊出生率

	出生数(千人)	出生率(人口千対)	合計特殊出生率
1947年	2,679	34.3	4.54
2002年	1,154	9.2	1.32
2003年	1,124	8.9	1.29
2004年	1,111	8.8	1.29
2005年	1,063	8.4	1.25

厚生労働省調べ

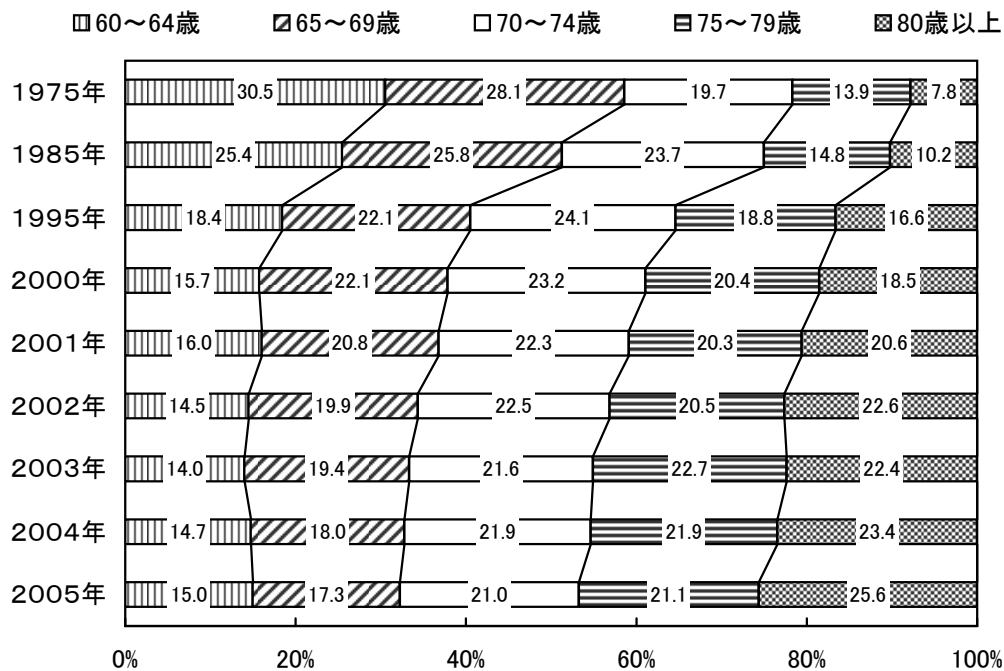
(注)出生率と合計特殊出生率は1947年が戦後最高の数値
2005年は概数である。

3. 老年人口(65歳以上人口)

	老年人口(1,000人)		
	総数	女	男
1980年	10,647	6,148	4,500
2002年	23,628	13,671	9,957
2003年	24,311	14,052	10,259
2004年	24,876	14,371	10,506
2005年	25,672	14,797	10,875
	(100.0%)	(57.6%)	(42.4%)
2010年	28,735	16,567	12,167
	(100.0%)	(57.7%)	(42.3%)
2025年	34,726	20,231	14,495
	(100.0%)	(58.3%)	(41.7%)
2050年	35,863	21,075	14,788
	(100.0%)	(58.8%)	(41.2%)

上段：総務省調べ
下段：厚生労働省推計

4. 世帯主の年齢階級別にみた60歳以上の女性の単独世帯数の構成割合



厚生労働省調べ

(注)1995年については兵庫県が含まれていない。

(日本女性の現状 (3) 教育関係)

5. 進学率

	高等学校等への進学率(1)			大学への進学率(2)			短期大学への進学率(3)		
	計	女	男	計	女	男	計	女	男
2002	95.8	96.5	95.2	40.5	33.8	47.0	8.1	14.7	1.8
2003	96.1	96.6	95.7	41.3	34.4	47.8	7.7	13.9	1.8
2004	96.3	96.7	96.0	42.4	35.2	49.3	7.5	13.5	1.8
2005	96.5	96.8	96.1	44.2	36.8	51.3	7.3	13.0	1.8

文部科学省調べ

(注) (1) 高等学校等への進学率 = $\frac{\text{高等学校等への進学者数} + \text{同就職進学者数}}{\text{中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数}} \times 100$

(2) 及び(3) 大学、短期大学への進学率 = $\frac{\text{大学、短期大学への入学者数}}{\text{3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数}} \times 100$

6. 学校管理職への女性の登用状況

		2000年				2001年				2002年			
		総数	女	割合	男	総数	女	割合	男	総数	女	割合	男
小学校	校長	23,208	3,620	15.6%	19,588	23,060	3,795	16.5%	19,265	22,906	3,912	17.1%	18,994
	教頭	23,469	5,277	22.5%	18,192	23,357	5,240	22.4%	18,117	23,246	5,182	22.3%	18,064
	教員総数	407,598	253,946	62.3%	153,652	407,829	254,765	62.5%	153,064	410,505	256,950	62.6%	153,555
中学校	校長	10,210	358	3.5%	9,852	10,197	391	3.8%	9,806	10,157	407	4.0%	9,750
	教頭	11,183	867	7.8%	10,316	11,199	862	7.7%	10,337	11,181	864	7.7%	10,317
	教員総数	257,605	104,315	40.5%	153,290	255,494	103,780	40.6%	151,714	253,954	103,464	40.7%	150,490
高校	校長	5,224	181	3.5%	5,043	5,216	200	3.8%	5,016	5,209	215	4.1%	4,994
	教頭	7,545	312	4.1%	7,233	7,666	341	4.4%	7,325	7,757	373	4.8%	7,384
	教員総数	269,027	68,847	25.6%	200,180	266,548	69,603	26.1%	196,945	262,371	69,855	26.6%	192,516
中等	校長	1	0	0.0%	1	2	0	0.0%	2	4	0	0.0%	4
	教頭	7	1	14.3%	6	11	1	9.1%	10	13	1	7.7%	12
	教員総数	124	34	27.4%	90	194	60	30.9%	134	257	81	31.5%	176
高専	校長	62	0	0.0%	62	62	0	0.0%	62	62	0	0.0%	62
	教授	1,714	13	0.8%	1,701	1,715	14	0.8%	1,701	1,752	19	1.1%	1,733
	助教授	1,559	52	3.3%	1,507	1,595	62	3.9%	1,533	1,622	70	4.3%	1,552
	教員総数	4,459	180	4.0%	4,279	4,467	191	4.3%	4,276	4,465	196	4.4%	4,269
短大	学長	370	42	11.4%	328	349	47	13.5%	302	332	46	13.9%	286
	副学長	119	21	17.6%	98	118	17	14.4%	101	121	19	15.7%	102
	教授	6,660	2,089	31.4%	4,571	6,208	1,997	32.2%	4,211	5,668	1,868	33.0%	3,800
	教員総数	16,752	7,339	43.8%	9,413	15,638	6,977	44.6%	8,661	14,491	6,587	45.5%	7,904
大学	学長	639	47	7.4%	592	663	49	7.4%	614	674	55	8.2%	619
	副学長	344	14	4.1%	330	424	16	3.8%	408	452	15	3.3%	437
	教授	58,137	4,595	7.9%	53,542	59,144	4,907	8.3%	54,237	60,295	5,290	8.8%	55,005
	教員総数	150,563	20,314	13.5%	130,249	152,572	21,467	14.1%	131,105	155,050	22,890	14.8%	132,160

		2003年				2004年				2005年			
		総数	女	割合	男	総数	女	割合	男	総数	女	割合	男
小学校	校長	22,738	4,025	17.7%	18,713	22,557	4,057	18.0%	18,500	22,316	4,053	18.2%	18,263
	教頭	23,085	5,071	22.0%	18,014	22,965	5,010	21.8%	17,955	22,745	4,908	21.6%	17,837
	教員総数	413,890	259,467	62.7%	154,423	414,908	260,290	62.7%	154,618	416,833	261,559	62.7%	155,274
中学校	校長	10,114	430	4.3%	9,684	10,064	450	4.5%	9,614	9,991	474	4.7%	9,517
	教頭	11,179	840	7.5%	10,339	11,172	858	7.7%	10,314	11,097	866	7.8%	10,231
	教員総数	252,050	103,101	40.9%	148,949	249,794	102,414	41.0%	147,380	248,694	102,091	41.1%	146,603
高校	校長	5,201	243	4.7%	4,958	5,165	251	4.9%	4,914	5,130	243	4.7%	4,887
	教頭	7,785	396	5.1%	7,389	7,803	427	5.5%	7,376	7,858	444	5.7%	7,414
	教員総数	258,537	69,962	27.1%	188,575	255,605	70,170	27.5%	185,435	251,408	69,475	27.6%	181,933
中等	校長	9	0	0.0%	9	10	0	0.0%	10	12	0	0.0%	12
	教頭	22	1	4.5%	21	24	1	4.2%	23	26	3	11.5%	23
	教員総数	380	125	32.9%	255	470	161	34.3%	309	560	178	31.8%	382
高専	校長	63	0	0.0%	63	63	0	0.0%	63	63	0	0.0%	63
	教授	1,785	25	1.4%	1,760	1,813	33	1.8%	1,780	1,795	34	1.9%	1,761
	助教授	1,653	76	4.6%	1,577	1,659	91	5.5%	1,568	1,683	102	6.1%	1,581
	教員総数	4,474	203	4.5%	4,271	4,473	227	5.1%	4,246	4,469	240	5.4%	4,229
短大	学長	314	45	14.3%	269	296	43	14.5%	253	274	39	14.2%	235
	副学長	115	15	13.0%	100	120	18	15.0%	102	110	15	13.6%	95
	教授	5,260	1,762	33.5%	3,498	4,975	1,690	34.0%	3,285	4,607	1,563	33.9%	3,044
	教員総数	13,534	6,244	46.1%	7,290	12,740	5,898	46.3%	6,842	11,960	5,568	46.6%	6,392
大学	学長	687	57	8.3%	630	691	55	8.0%	636	699	53	7.6%	646
	副学長	490	23	4.7%	467	575	24	4.2%	551	620	32	5.2%	588
	教授	61,400	5,628	9.2%	55,772	63,162	6,108	9.7%	57,054	64,940	6,559	10.1%	58,381
	教員総数	156,155	23,955	15.3%	132,200	158,770	25,373	16.0%	133,397	161,690	26,950	16.7%	134,740

(注) 「中等」は、中等教育学校

文部科学省調べ

(日本女性の現状(4) 就業関係)

7. 労働力人口、就業者数等

		15歳以上人口	労働力人口			非労働力人口	労働力人口比率	労働力人口の男女別構成比	失業率
			計	就業者	完全失業者				
		万人	万人	万人	万人	万人	%	%	%
総数	1980年	8,932	5,650	5,536	114	3,249	63.3	100.0	2.0
	2002年	10,927	6,689	6,330	359	4,229	61.2	100.0	5.4
	2003年	10,962	6,666	6,316	350	4,285	60.8	100.0	5.3
	2004年	10,990	6,642	6,329	313	4,336	60.4	100.0	4.7
	2005年	11,007	6,650	6,356	294	4,346	60.4	100.0	4.4
女	1980年	4,591	2,185	2,142	43	2,391	47.6	38.7	2.0
	2002年	5,632	2,733	2,594	140	2,895	48.5	40.9	5.1
	2003年	5,654	2,732	2,597	135	2,916	48.3	41.0	4.9
	2004年	5,672	2,737	2,616	121	2,930	48.3	41.2	4.4
	2005年	5,684	2,750	2,633	116	2,929	48.4	41.4	4.2
男	1980年	4,341	3,465	3,394	71	859	79.8	61.3	2.0
	2002年	5,294	3,956	3,736	219	1,333	74.7	59.1	5.5
	2003年	5,308	3,934	3,719	215	1,369	74.1	59.0	5.5
	2004年	5,318	3,905	3,713	192	1,406	73.4	58.8	4.9
	2005年	5,323	3,901	3,723	178	1,416	73.3	58.7	4.6

総務省調べ

8. 年齢階級別労働力人口比率

(%)

	2002年		2003年		2004年		2005年	
	女	男	女	男	女	男	女	男
総数	48.5	74.7	48.3	74.1	48.3	73.4	48.4	73.3
15～19歳	16.7	17.8	16.6	16.6	16.3	16.3	16.5	16.2
20～24歳	70.1	71.4	69.4	70.8	68.9	68.5	69.8	68.6
25～29歳	71.8	94.6	73.4	94.4	74.0	94.0	74.9	93.6
30～34歳	60.3	96.9	60.3	96.7	61.4	96.6	62.7	96.4
35～39歳	61.8	97.3	63.1	96.9	62.4	96.8	63.0	97.0
40～44歳	70.5	97.4	70.3	97.5	70.4	97.2	71.0	97.0
45～49歳	72.4	97.1	72.5	97.2	73.0	97.0	73.9	96.7
50～54歳	67.7	96.3	68.1	96.0	68.4	95.7	68.8	95.7
55～59歳	58.1	93.8	58.9	93.5	59.6	93.2	60.0	93.6
60～64歳	39.2	71.2	39.4	71.2	39.7	70.7	40.1	70.3
65歳以上	13.2	31.1	13.0	29.9	12.9	29.2	12.7	29.4

総務省調べ

9. 平均勤続年数の推移

(年)

	平均勤続年数		
	総数	女	男
1995年	11.3	7.9	12.9
2000年	12.0	8.8	13.3
2001年	12.2	8.9	13.6
2002年	12.1	8.8	13.5
2003年	12.2	9.0	13.5
2004年	12.1	9.0	13.4
2005年	12.0	8.7	13.4

厚生労働省調べ

10. 1人当たりきまって支給する現金給与額及び所定内給与額

(千円)

	きまって支給する現金給与額		所定内給与額	
	女	男	女	男
1985年	153.6	274.0	145.8	244.6
1990年	186.1	326.2	175.0	290.5
1995年	217.5	361.3	206.2	330.0
2000年	235.1	370.3	220.6	336.8
2001年	237.1	373.5	222.4	340.7
2002年	238.8	367.7	223.6	336.2
2003年	239.4	368.6	224.2	335.5
2004年	241.7	367.7	225.6	333.9
2005年	239.0	372.1	222.5	337.8

厚生労働省調べ

(注)事業所規模10人以上

(第2条関係)

11. 人権擁護委員数(過去5年)

	総数(人)	女性委員数(人)	女子の比率(%)
2001年	13,991	4,403	31.5
2002年	14,032	4,621	32.9
2003年	13,998	4,814	34.4
2004年	13,936	5,035	36.1
2005年	13,864	5,280	38.1

法務省調べ

12. 強姦、強制わいせつに関する統計

1) 強姦、強制わいせつの認知件数

(件)

	認知件数	
	強姦	強制わいせつ
2001年	2,228	9,326
2002年	2,357	9,476
2003年	2,472	10,029
2004年	2,176	9,184
2005年	2,076	8,751

警察庁調べ

2) 刑法犯(強制わいせつ、強姦)通常受理・処理人員

強姦

区分/年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
通常受理	1,936	1,738	1,883	1,996	1,741	1,683
起訴	1,112	956	1,097	1,133	1,014	1,027
不起訴	513	496	570	567	582	533

(2000年～2004年、強姦致死傷を含む)

(2005年、強姦致死傷、集団強姦、集団強姦致死傷を含む)

強制わいせつ

区分/年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
通常受理	2,707	2,845	2,769	2,996	3,154	3,228
起訴	1,289	1,364	1,402	1,458	1,636	1,621
不起訴	843	962	945	1,013	1,081	1,163

(強制わいせつ致死傷を含む)

(注)通常受理とは、検察官が認知・直受したもの及び司法警察員から送致を受けたものを意味する。

法務省調べ

13. 同和対策・地域改善対策事業関係予算(国費)の状況

- ・同和対策事業特別措置法(1969年7月10日施行～1982年3月31日失効)、国費:1,442,321百万円
- ・地域改善対策特別措置法(1982年4月1日施行～1987年3月31日失効)、国費:1,152,876百万円
- ・地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(1987年4月1日施行～2002年3月31日失効)、国費:1,695,834百万円

(注)

- ・金額は、当初予算額(総務庁調べ)である。
- ・1993年度総務庁「同和地区実態把握等調査」によると、
 - ①全国の同和地区のうち報告のあった同和地区内の人口は215万8,789人。
 - ②このうち同和関係人口は89万2,751人。

14. アイヌ人口(2006年)

	人数	構成比 (%)
男性	11,680	49
女性	12,102	51
全体	23,782	100

北海道庁データ

15. 在日韓国・朝鮮人の外国人登録者数(2004年)

	登録者数	構成比 (%)
男性	282,796	46.6
女性	324,623	53.4
全体	607,419	100

法務省提供

(第3条関係)

16. 障害者数

(人)

	身体障害児・者				知的障害児・者		
	総数	在宅者		施設入所者	総数	在宅者	施設入所者
		身体障害児	身体障害者				
総数	3,516,000	81,900	3,245,000	189,000	459,100	329,200	129,900
女	—	39,000	1,423,000	—	—	130,900	—
男	—	42,000	1,779,000	—	—	184,500	—
不詳	—	1,000	44,000	—	—	13,800	—

厚生労働省調べ

(注)身体障害児・者については2001年調べ(身体障害者・児実態調査等)

知的障害児・者については2000年調べ(知的障害児(者)基礎調査等)

(第4条関係)

17. 国の審議会等における女性委員

	審議会等 総数	女性委員を 含む審議会 等数	女性委員を 含む審議会 等の割合	委員総数	女性 委員数	女性委員の 割合
			%	人	人	%
2000年9月	197	186	94.4	3,985	831	20.9
2001年9月	98	94	95.9	1,717	424	24.7
2002年9月	100	97	97.0	1,715	429	25.0
2003年9月	102	100	98.0	1,734	465	26.8
2004年9月	103	102	99.0	1,767	499	28.2
2005年9月	104	103	99.0	1,792	554	30.9

内閣府調べ

18. 国家公務員に関する統計

1) 国家公務員採用 I 種試験の採用者に占める女性の数、割合

(人、%)

採用年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
採用者数	569	603	623	644	646	589
うち女性の数	89	96	102	125	130	124
割合	15.6	15.9	16.4	19.4	20.1	21.1

人事院調べ

(注) 2005年度までは当該年度の採用者数、2006年度は2006年3月末現在の採用内定者数

2) 国家公務員の課長クラス以上への女性の登用状況

(人、%)

	指 定 職		行 政 職 (一)						計	
			11級		10級		9級			
	総数	女性	総数	女性	総数	女性	総数	女性	総数	女性
2000年度	1,660	6 (0.4)	1,644	23 (1.4)	2,277	26 (1.1)	4,158	67 (1.6)	9,739	122 (1.3)
2001年度	1,627	11 (0.7)	1,706	24 (1.4)	2,318	35 (1.5)	4,155	66 (1.6)	9,806	136 (1.4)
2002年度	1,641	13 (0.8)	1,774	27 (1.5)	2,291	31 (1.4)	4,161	59 (1.4)	9,867	130 (1.3)
2003年度	1,623	13 (0.8)	1,734	36 (2.1)	2,306	30 (1.3)	4,142	66 (1.6)	9,805	145 (1.5)
2004年度	861	10 (1.2)	1,717	36 (2.1)	2,199	28 (1.3)	3,679	68 (1.8)	8,456	142 (1.7)

人事院調べ

(注) 1. 2000年度は年度末、2001年度からは、各年度の1月15日現在

2. ()内は、総数に対する女性の割合である。

3. 「指定職」は、次官、局長、審議官クラス、「行政職(一)11級~9級」は、本省の課室長及び地方機関の長クラスである。

19. 地方公共団体の審議会等における女性委員

	審議会等 総数	女性委員を 含む審議会 等数	女性委員を 含む審議会 等の割合	委員総数	女性 委員数	女性委員の 割合
			%	人	人	%
2000年	1,617	1,389	85.9	35,267	5,491	15.6
2001年	1,535	1,356	88.3	32,559	5,421	16.6
2002年	1,491	1,348	90.4	30,731	5,842	19.0
2003年	1,499	1,355	90.4	30,348	6,034	19.9
2004年	1,502	1,395	92.9	34,674	8,184	23.6
2005年	1,692	1,581	93.4	47,289	12,251	25.9

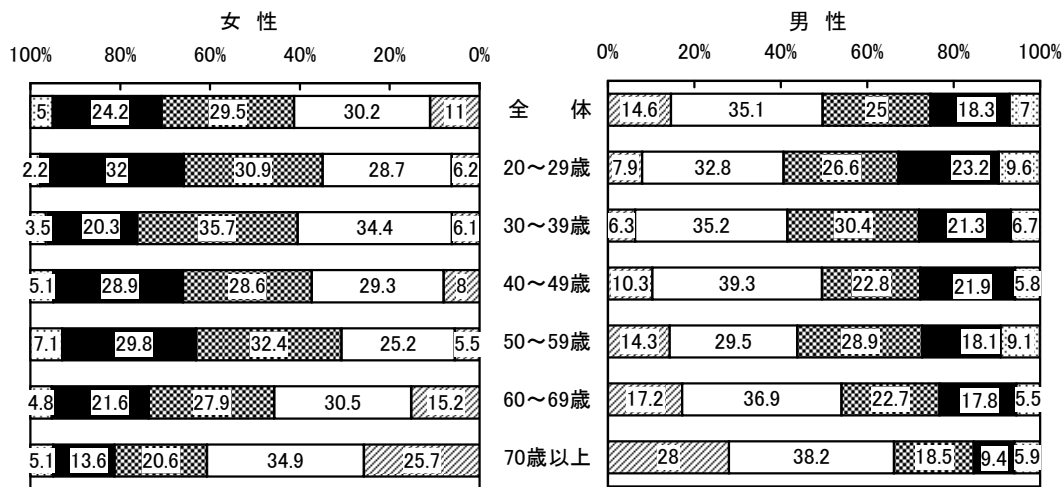
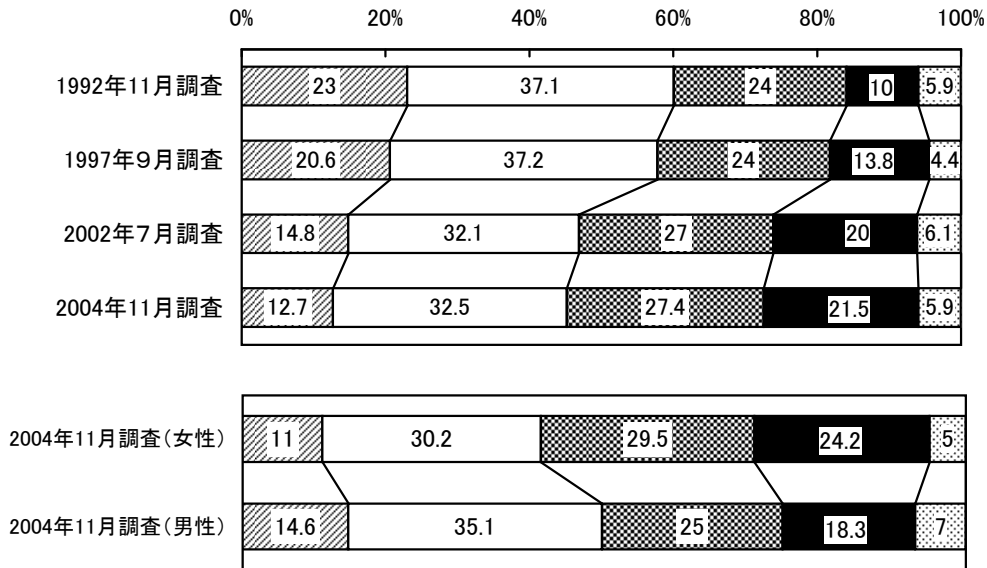
内閣府調べ

- (注) 1. 各地方自治体の事情により、調査時点が異なる場合がある。
 2. 審議会の数については、各都道府県、各政令指定都市を単位とする。

20. 男女共同参画社会に関する世論調査

1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

☐賛成 □どちらかといえば賛成 ▨どちらかといえば反対 ■反対 □わからない

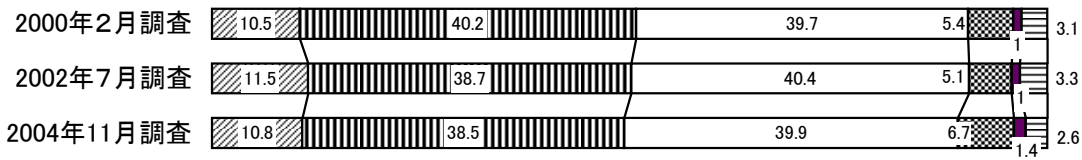


内閣府調べ

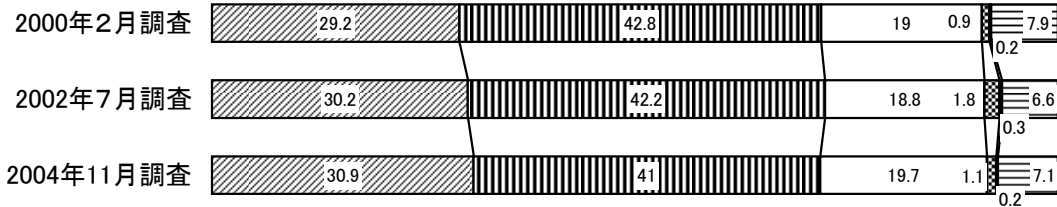
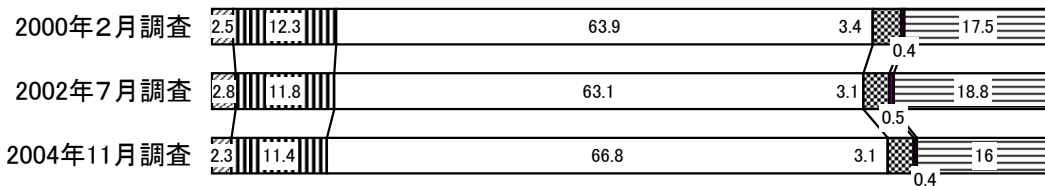
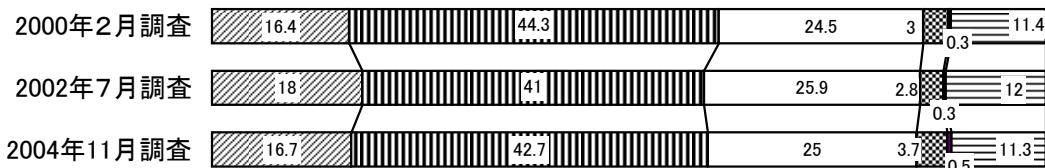
20. 男女共同参画社会に関する世論調査
2) 男女の地位の平等感

- ▨ 男性の方が非常に優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▩ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▧ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

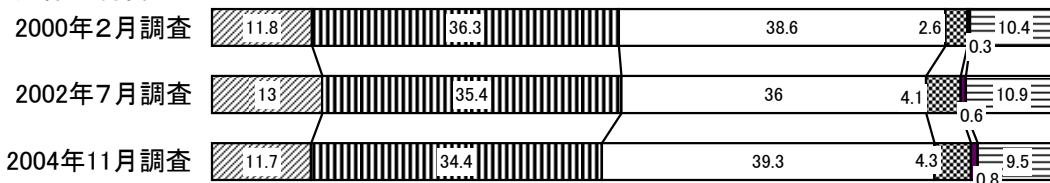
(ア) 家庭生活上で



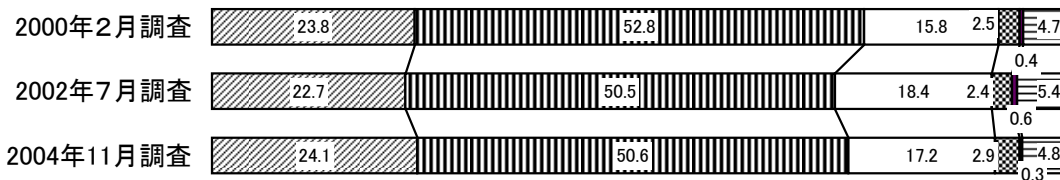
(イ) 職場で



(オ) 法律や制度の上で



(カ) 社会通念・慣習・しきたりなどで



(第6条関係)

21. 人身取引に関する統計

1) 人身取引事犯の現状

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	計
検挙件数	64	44	51	79	81	319
検挙人員	40	28	41	58	83	250
ブローカー	9	7	8	23	26	73
被害者総数	65	55	83	77	117	397
インドネシア	4		3		44	51
フィリピン	12	2		13	40	67
タイ	39	40	21	48	21	169
台湾	7	3	12	5	4	31
ルーマニア					4	4
コロンビア	3	6	43	5	1	58
韓国				3	1	4
オーストラリア					1	1
エストニア					1	1
ロシア				2		2
ラオス				1		1
中国		4	2			6
カンボジア			2			2

警察庁調べ

2) 人身取引の被害者の実態(2005年)

国籍	処理状況		合計 (人)
	正規在留 (人)	在留特別許可 (人)	
フィリピン	25	22	47
インドネシア	37	4	41
タイ	0	17	17
コロンビア	0	4	4
ルーマニア	4	0	4
中国	2	0	2
総数	68	47	115

(注) 正規在留者68名の在留資格は「興行」である。

法務省調べ

22. 婦人相談所・婦人相談員に関する統計

1) 婦人相談所・婦人相談員・婦人保護施設の数

	婦人 相談所	婦人 相談員	婦人 保護施設
1995年	47	475	52
2000年	47	675	50
2001年	47	741	50
2002年	47	805	50
2003年	47	840	50
2004年	47	866	50

厚生労働省調べ

2) 婦人相談所における人身取引被害者の一時保護実績

年度	2001	2002	2003	2004	2005
人数	1	2	6	24	112

厚生労働省調べ

3) 婦人相談所・婦人相談員の受付件数(新規・再来別)

年度	総 数			婦 人 相 談 所			婦 人 相 談 員		
	総 数	新 規	再 来	総 数	新 規	再 来	総 数	新 規	再 来
2000年	159,518	106,726	52,792	50,789	37,021	13,768	108,729	69,705	39,024
2001年	186,294	125,777	60,517	60,206	43,996	16,210	126,088	81,781	44,307
2002年	213,202	140,053	73,149	58,591	40,985	17,606	154,611	99,068	55,543
2003年	224,004	139,508	84,496	35,267	19,657	15,610	188,737	119,851	68,886
2004年	248,535	151,368	97,167	40,778	21,598	19,180	207,757	129,770	77,987

厚生労働省調べ

(注) 数字はそれぞれ都道府県の全国合計

4) 婦人保護施設の入所人員・退所人員・在所人員・入所延人員・職業訓練の状況

年度	入 所 人 員	理 由 別 退 所 人 員							年度末 現在在 所人員	入 所 延 人 員			職 業 訓 練 の 状 況		
		総 数	就 職 自 営	帰 宅 帰 郷	結 婚	他の関係 機関施設 へ 移 送	無 断 退 所	その他		要保護 女子・暴力 被害女性	要保護女子 が同伴した 乳幼児	要保護女子・ 暴力被害女性が 同伴した家族	総 数	施設内 訓 練	施設外 訓 練
2000年	1,044	1,067	201	258	8	317	49	234	708	261,102	17,895	・	3,306	1,946	1,360
2001年	1,232	1,205	189	338	5	402	53	218	728	256,627	19,748	・	8,903	5,815	3,088
2002年	1,419	1,436	241	322	3	491	58	321	715	268,427	23,795	・	7,740	4,884	2,856
2003年	1,300	1,356	223	267	7	488	46	325	651	237,240	・	16,731	4,049	2,671	1,378
2004年	1,253	1,287	169	220	0	503	41	354	617	241,927	・	19,686	2,852	1,772	1,080

厚生労働省調べ

(注) 数字はそれぞれ都道府県の全国合計

2002年以前の「要保護女子・暴力被害女性」については「要保護女子」のみの計上である。

23. 売春関係事犯の検挙状況(件数、人員)

法令別		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	
件数	総数	3,404	3,368	3,693	3,068	2,597	
	計	2,947	2,840	2,901	2,411	2,011	
	勧誘等	345	278	234	230	239	
	周旋等	1,585	1,724	2,015	1,459	1,042	
	契約	911	742	539	610	632	
	場所提供等	83	67	69	95	81	
	売春をさせる業	10	13	4	8	6	
	資金等の提供	3	3	9	6	6	
	その他	10	13	31	3	5	
	児童福祉法	65	88	119	100	125	
	職業安定法	25	36	33	23	14	
	その他の法令	367	404	640	534	447	
	人員	総数	1,486	1,539	1,742	1,669	1,452
		計	1,225	1,177	1,200	1,144	1,012
勧誘等		354	277	227	231	240	
周旋等		614	684	747	685	542	
契約		88	74	62	65	53	
場所提供等		129	88	132	144	143	
売春をさせる業		26	36	7	11	20	
資金等の提供		4	4	9	6	7	
その他		10	14	16	2	7	
児童福祉法		43	98	91	104	110	
職業安定法		32	36	35	11	15	
その他の法令		186	228	416	410	315	

警察庁調べ

24. 売春防止法違反通常受理・処理人員

区分/年	2001	2002	2003	2004
通常受理	1,032	1,542	1,247	1,128
起訴	780	935	948	794
不起訴	238	223	284	304

法務省調べ

* 勧誘, 周旋, 困惑等による売春, 対償の收受, 前貸し, 売春をさせる契約, 場所の提供, 管理売春, 資金等の提供等含む

25. 売春関係事犯に関与した外国人女性の国籍・稼働先別状況(人)

	国籍等別	合 計	フ ィ リ ピ ン	中 国	台 湾	タ イ	韓 国 ・ 朝 鮮	コ ロ ン ビ ア	そ の 他
2000年	合 計	497	20	38	48	197	77	79	38
	風 俗 営 業	112		1	30	81			
	性風俗関連特殊営業								
	深夜飲食店	27			3	19	3		2
	その他の飲食店	77	17	10	5	40	3		2
	そ の 他	281	3	27	10	57	71	79	34
2001年	合 計	472	3	146	61	136	60	52	14
	風 俗 営 業	217		121	43	34	11		8
	性風俗関連特殊営業	8				5		2	1
	深夜飲食店	37		13	1	22			1
	その他の飲食店	14				14			
	そ の 他	196	3	12	17	61	49	50	4
2002年	合 計	221	1	39	40	71	15	52	3
	風 俗 営 業	35		15	13	7			
	性風俗関連特殊営業	4		3			1		
	深夜飲食店	5			3	2			
	その他の飲食店	35		6		28		1	
	そ の 他	142	1	15	24	34	14	51	3
2003年	合 計	336	3	105	56	94	17	48	13
	風 俗 営 業	56	1	13	14	16	4		8
	性風俗関連特殊営業	40		25	3	1		11	
	深夜飲食店	21	1	15		2	3		
	その他の飲食店	80		26	22	30			2
	そ の 他	139	1	26	17	45	10	37	3
2004年	合 計	318	3	90	37	130	15	24	19
	風 俗 営 業	101	1	37	11	34	7	1	10
	性風俗関連特殊営業	23		16			5		2
	深夜飲食店	39				39			
	その他の飲食店	30		1	10	15		4	
	そ の 他	125	2	36	16	42	3	19	7

警察庁調べ

26. 退去強制手続を執った不法就労外国人のうち「売春」に従事していた者の数

	総数	男	女
2000年	435	1	434
2001年	351	4	347
2002年	297	4	293
2003年	338	9	329
2004年	176	2	174
2005年	347	4	343

法務省調べ

27. わいせつ物頒布事犯等の検挙状況

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
件数(件)	552	451	393	364	502
人員(人)	742	592	483	432	590

警察庁調べ

28. コンピュータネットワークを利用したわいせつ物頒布事犯等の検挙状況(件数)

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
わいせつ物頒布等	154	103	109	113	121
わいせつ物 公然陳列	21	21	28	5	21

警察庁調べ

29. 児童買春・児童ポルノに関する統計

1) 児童買春・児童ポルノ禁止法による検挙状況

(2001～2004年)

区分 年	検 挙 件 数						検 挙 人 員					
	総数 (件)	児童買春	児童ポルノ		児童ポルノ	利用に 係るもの	総数 (人)	児童買春	児童ポルノ		児童ポルノ	利用に 係るもの
			うち出会い 系サイトの 利用に係るもの	うちテレホン クラブの 営業に係るもの					うち出会い 系サイトの 利用に係るもの	うちテレホン クラブの 営業に係るもの		
2001	1,562	1,410	379	503	152	128	1,026	898	237	357	128	99
2002	2,091	1,902	787	478	189	140	1,366	1,201	493	356	165	104
2003	1,945	1,731	791	212	214	102	1,374	1,182	568	174	192	100
2004	1,845	1,668	745	178	177	85	1,232	1,095	498	135	137	76
2005	2,049	1,579	654	219	470	136	1,336	1,024	495	129	312	110

警察庁調べ

※ 性の逸脱・被害行為で補導した少年の学識別状況については、統計調査の方法を変更したことにより、該当する統計は存在しない

2) 児童買春・児童ポルノ禁止法違反通常受理・処理人員

区分/年	2001	2002	2003	2004
通常受理	976	2,202	1,391	1,362
起訴	909	1,281	1,241	1,215
不起訴	63	84	85	120

法務省調べ

- * 児童買春罪, 周旋罪, 勧誘罪, 児童ポルノ頒布, 児童買春等目的の人身売買罪等含む
- * 検察統計年報による

(第7条関係)

30. 衆参両議院における女性議員数の推移

衆議院

選挙回数	選挙期日	定数	女性数	女性の割合
第22回	1946年4月	466人	39人	8.4%
第23回	1947年4月	466	15	3.2
第24回	1949年1月	466	12	2.6
第25回	1952年10月	466	9	1.9
第26回	1953年4月	466	9	1.9
第27回	1955年2月	467	8	1.7
第28回	1958年5月	467	11	2.4
第29回	1960年11月	467	7	1.5
第30回	1963年11月	467	7	1.5
第31回	1967年1月	486	7	1.4
第32回	1969年12月	486	8	1.6
第33回	1972年12月	491	7	1.4
第34回	1976年12月	511	6	1.2
第35回	1979年10月	511	11	2.2
第36回	1980年6月	511	9	1.8
第37回	1983年12月	511	8	1.6
第38回	1986年7月	512	7	1.4
第39回	1990年2月	512	12	2.3
第40回	1993年7月	511	14	2.7
第41回	1996年10月	500	23	4.6
第42回	2000年6月	480	35	7.3
第43回	2003年11月	480	34	7.1
第44回	2005年9月	480	43	9.0

参議院

選挙回数	選挙期日	定数	女性数	女性の割合
第1回	1947年4月	250人	10人	4.0%
第2回	1950年6月	250	12	4.8
第3回	1953年4月	250	15	6.0
第4回	1956年7月	250	15	6.0
第5回	1959年6月	250	13	5.2
第6回	1962年7月	250	16	6.4
第7回	1965年7月	250	17	6.8
第8回	1968年7月	250	13	5.2
第9回	1971年6月	252	13	5.2
第10回	1974年7月	252	18	7.1
第11回	1977年7月	252	16	6.3
第12回	1980年6月	252	17	6.7
第13回	1983年6月	252	18	7.1
第14回	1986年7月	252	22	8.7
第15回	1989年7月	252	33	13.1
第16回	1992年7月	252	37	14.7
第17回	1995年7月	252	34	13.5
第18回	1998年7月	252	43	17.1
第19回	2001年7月	247	38	15.4
第20回	2004年7月	242	33	13.6

(衆議院・参議院各事務局調べ)

- (注) 1. 衆議院は各総選挙における女性の当選人数。
2. 参議院は通常選挙後の国会招集日における女性議員の数。

31. 衆参両議員選挙における女子の参画状況

(千人、%)

		当日有権者数		投票者数		投票率	
		女	男	女	男	女	男
衆 議 院	第22回衆議院議員総選挙 (1946. 4.10)	20,558	16,321	13,767	12,815	67.0%	78.5%
	23 (1947. 4.25)	21,330	19,578	13,139	14,658	61.6	74.9
	24 (1949. 1.23)	22,045	20,061	14,979	16,197	67.9	80.7
	25 (1952.10. 1)	24,460	22,313	17,796	17,954	72.8	80.5
	26 (1953. 4.19)	24,610	22,481	17,335	17,613	70.4	78.3
	27 (1955. 2.27)	25,679	23,557	18,505	18,833	72.1	79.9
	28 (1958. 5.22)	27,130	24,883	20,190	19,855	74.4	79.8
	29 (1960.11.20)	28,351	25,962	20,193	19,731	71.2	76.0
	30 (1963.11.21)	30,398	27,884	21,285	20,178	70.0	72.4
	31 (1967. 1.29)	32,748	30,245	23,997	22,609	73.3	74.8
	32 (1969.12.27)	35,799	33,461	24,746	22,704	69.1	67.9
	33 (1972.12.10)	38,099	35,671	27,606	25,330	72.5	71.0
	34 (1976.12. 5)	40,203	37,724	29,769	27,468	74.0	72.8
	35 (1979.10. 7)	41,368	38,802	28,363	26,159	68.6	67.4
	36 (1980. 6.22)	41,754	39,171	31,465	28,878	75.4	73.7
	37 (1983.12.18)	43,448	40,804	29,674	27,567	68.3	67.6
	38 (1986. 7. 6)	44,585	41,842	32,331	29,377	72.5	70.2
	39 (1990. 2.18)	46,555	43,768	34,734	31,482	74.6	71.9
	40 (1993. 7.18)	48,650	45,828	33,124	30,424	68.1	66.4
	41 (1996.10.20)	50,296	47,385	小30,293 比30,279	小27,970 比27,960	小60.23 比60.20	小59.03 比59.01
42 (2000. 6.25)	小51,736 比51,761	小48,698 比48,731	小32,562 比32,558	小30,202 比30,200	小62.94 比62.90	小62.02 比61.97	
43 (2003. 11.9)	小52,727 比52,762	小49,506 比49,545	小31,652 比31,649	小29,545 比29,544	小60.03 比59.99	小59.68 比59.63	
参 議 院 (注)	第1回参議院議員通常選挙 (1947. 4.20)	21,351	19,608	11,536	13,419	54.0	68.4
	2 (1950. 6. 4)	22,699	20,763	15,149	16,227	66.7	78.2
	3 (1953.4.24)	24,583	22,454	14,484	15,234	58.9	67.8
	4 (1956. 7. 8)	26,190	23,988	15,118	16,044	57.7	66.9
	5 (1959. 6. 2)	27,905	25,611	15,415	16,022	55.2	62.6
	6 (1962. 7. 1)	29,306	26,832	19,490	18,801	66.5	70.1
	7 (1965. 7. 4)	31,044	28,500	20,530	19,371	66.1	68.0
	8 (1968. 7. 7)	34,177	31,710	23,573	21,845	69.0	68.9
	9 (1971. 6.27)	36,766	34,412	21,811	20,349	59.3	59.1
	10 (1974. 7. 7)	38,905	36,451	28,646	26,512	73.6	72.7
	11 (1977. 7.10)	40,410	37,911	27,987	25,648	69.3	67.7
	12 (1980. 6.22)	41,754	39,171	31,441	28,858	75.3	73.7
	13 (1983. 6.26)	43,162	40,520	24,647	23,050	57.1	56.9
	14 (1986. 7. 6)	44,585	41,842	32,296	29,347	72.4	70.1
	15 (1989. 7.23)	46,334	43,557	30,405	28,029	65.6	64.4
	16 (1992. 7.26)	48,029	45,225	24,419	22,864	50.8	50.6
	17 (1995. 7.23)	49,802	46,957	22,091	20,969	44.4	44.7
	18 (1998. 7.12)	51,010	48,039	比30,232 選30,237	比28,037 選28,043	比59.27 選59.28	比58.36 選58.38
	19 (2001. 7.29)	比52,185 選52,151	比49,125 選49,185	比29,673 選29,663	比27,485 選27,476	比56.86 選56.88	比55.95 選55.98
	20 (2004. 7.11)	比52,922 選52,883	比49,667 選49,625	比29,907 選29,899	比28,099 選28,092	比56.51 選56.54	比56.58 選56.61

総務省調べ

(注)1.小:小選挙区、比:比例代表区、選:選挙区

2.参議院の第1回～第12回は全国区、第13回～第17回は比例代表区の数字である。

32. 女性の大員(歴代の女性の大員)

	総数	女性	女性割合
	人	人	%
2002年8月	22	4	18.2
2003年7月	22	4	18.2
2004年7月	22	3	13.6
2005年11月	22	2	9.1

内閣府調べ

33. 女性の副大臣・大臣政務官(2002年以降)

	副大臣			政務官		
	総数	女性	女性割合	総数	女性	女性割合
	人	人	%	人	人	%
2002年1月	21	1	4.8	25	2	8
2003年7月	22	1	4.5	26	2	7.7
2004年7月	22	0	0	24	0	0
2005年11月	22	1	4.5	26	7	26.9

内閣府調べ

34. 女性裁判官数

年月日	合計			判事			判事補		
	総数 人	女 人	女性の割合 %	総数 人	女 人	女性の割合 %	総数 人	女 人	女性の割合 %
1985年6月1日	2,792	93	3.3	2,183	49	2.2	609	44	7.2
1990年6月1日	2,823	141	5.0	2,214	68	3.1	609	73	12.0
1995年4月1日	2,864	236	8.2	2,214	97	4.4	650	139	21.4
2000年4月1日	3,019	328	10.9	2,214	156	7.0	805	172	21.4
2001年4月1日	3,049	346	11.3	2,244	173	7.7	805	173	21.5
2002年4月1日	3,094	376	12.2	2,274	191	8.4	820	185	22.6
2003年4月1日	3,139	394	12.6	2,304	188	8.2	835	206	24.7
2004年4月1日	3,191	420	13.2	2,346	213	9.1	845	207	24.5
2005年4月1日	3,266	449	13.7	2,386	234	9.8	880	215	24.4

法務省提供

35. 女性検察官数

年月日	合計			検事			副検事		
	総数 人	うち女性 人	女性の割合 %	総数 人	うち女性 人	女性の割合 %	総数 人	うち女性 人	女性の割合 %
2000年3月31日	2,231	135	6.1	1,375	127	9.2	856	8	0.9
2001年3月31日	2,302	161	7.0	1,443	153	10.6	859	8	0.9
2002年3月31日	2,343	180	7.7	1,484	172	11.6	859	8	0.9
2003年3月31日	2,383	199	8.4	1,521	191	12.6	862	8	0.9
2004年3月31日	2,418	209	8.6	1,563	200	12.8	855	9	1.1
2005年3月31日	2,473	234	9.5	1,627	225	13.8	846	9	1.1

法務省調べ

36. 司法試験合格者数

年	総数 人	女性 人	女性の割合 %
1985	486	45	9.3
1990	499	74	14.8
1995	738	146	19.8
2000	994	270	27.2
2001	990	223	22.5
2002	1,183	277	23.4
2003	1,170	275	23.5
2004	1,483	364	24.5
2005	1,464	350	23.9

法務省調べ

37. 国家公務員の在職者数に占める女性の数、割合

(人、%)

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
在職者数	797,553	797,384	790,304	779,989	639,075
うち女性の数	159,803	161,215	161,696	160,786	125,209
割合	20.0	20.2	20.5	20.6	19.6

人事院調べ

(注)2000年度は年度末、2001年度からは、各年度の1月15日現在

38. 地方議会における女性議員数

	都道府県議会			市議会			町村議会			特別区議会			合計		
	総数	女性議員数	女性議員の割合	総数	女性議員数	女性議員の割合	総数	女性議員数	女性議員の割合	総数	女性議員数	女性議員の割合	総数	女性議員数	女性議員の割合
1984年12月	2,871	35	1.2	19,888	586	2.9	45,760	377	0.8	1,059	80	7.6	69,578	1,078	1.5
1985年12月	2,857	38	1.3	19,729	601	3	45,293	390	0.9	1,032	73	7.1	68,911	1,102	1.6
1986年12月	2,811	39	1.4	19,599	632	3.2	44,827	404	0.9	1,029	79	7.7	68,266	1,154	1.7
1987年12月	2,895	64	2.2	19,431	768	4	43,923	522	1.2	1,050	93	8.9	67,299	1,447	2.2
1988年12月	2,874	67	2.3	19,358	784	4.1	43,486	536	1.2	1,041	93	8.9	66,759	1,480	2.2
1989年12月	2,844	75	2.6	19,241	817	4.2	43,113	579	1.3	1,028	91	8.9	66,226	1,562	2.4
1990年12月	2,798	72	2.6	19,070	862	4.5	42,728	608	1.4	1,020	91	8.9	65,616	1,633	2.5
1991年12月	2,921	82	2.8	19,313	1,082	5.6	42,528	817	1.9	1,027	121	11.8	65,789	2,102	3.2
1992年12月	2,896	82	2.8	19,252	1,111	5.8	42,188	844	2.0	1,024	121	11.8	65,360	2,158	3.3
1993年12月	2,839	73	2.6	19,130	1,134	5.9	41,944	910	2.2	1,004	121	12.1	64,917	2,238	3.4
1994年12月	2,812	76	2.7	19,008	1,158	6.1	41,618	923	2.2	990	122	12.3	64,428	2,279	3.5
1995年12月	2,927	92	3.1	19,050	1,392	7.3	41,653	1,128	2.7	1,012	145	14.3	64,642	2,757	4.3
1996年12月	2,876	94	3.3	19,071	1,412	7.4	41,306	1,198	2.9	1,007	145	14.4	64,260	2,849	4.4
1997年12月	2,872	99	3.4	18,965	1,439	7.6	40,977	1,275	3.1	993	141	14.2	63,807	2,954	4.6
1998年12月	2,837	99	3.5	18,755	1,491	7.9	40,559	1,339	3.3	989	141	14.3	63,140	3,070	4.9
1999年12月	2,898	158	5.5	18,550	1,821	9.8	40,076	1,702	4.2	972	191	19.7	62,496	3,872	6.2
2000年12月	2,888	159	5.5	18,379	1,855	10.1	39,707	1,777	4.5	967	191	19.8	61,941	3,982	6.4
2001年12月	2,859	163	5.7	18,346	1,925	10.5	39,205	1,871	4.8	941	188	20.0	61,351	4,147	6.8
2002年12月	2,827	165	5.8	18,331	1,976	10.8	38,694	1,901	4.9	936	189	20.2	60,788	4,231	7.0
2003年12月	2,849	197	6.9	18,355	2,180	11.9	37,325	2,093	5.6	932	200	21.5	59,461	4,670	7.9
2004年12月	2,815	194	6.9	20,024	2,306	11.5	33,190	1,937	5.8	925	199	21.5	56,954	4,636	8.1
2005年12月	2,790	200	7.2	23,574	2,505	10.6	21,376	1,359	6.4	912	199	21.8	48,652	4,263	8.8

39. 地方公務員の課長級・係長級以上への女性の登用状況(一般行政職)

(単位:人、%)

	課長級以上			係長級以上			職員全体		
	総数	女性	割合	総数	女性	割合	総数	女性	割合
2001年	124,946	4,541	3.6	514,886	74,382	14.4	983,849	237,084	24.1
2002年	124,611	4,759	3.8	515,166	76,028	14.8	974,742	236,626	24.3
2003年	125,044	4,973	4.0	514,772	76,528	14.9	965,356	235,238	24.4
2004年	125,805	5,176	4.1	513,787	77,048	15.0	953,116	232,003	24.3
2005年	123,782	5,107	4.1	508,675	77,148	15.2	937,116	231,048	24.7

総務省調べ

- (注)1. 職員の範囲は「一般行政職」に限るものである。
 2. 「課長級以上」は部長級、部次長級及び課長級の合計、「係長級以上」は課長級以上、課長補佐級及び係長級の合計、「職員全体」は係長級以上と係員の合計である。

(第8条関係)

40. 国際機関等への日本女性の参画状況

1) 主な国際機関への日本人女性の参画状況(各年1月1日現在)

()内数値は%

	2002年		2003年		2004年		2005年		2006年	
	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)
国際連合事務局 (UN)	88	52 (59.1)	81	46 (56.8)	95	58 (61.1)	104	61 (58.7)	105	62 (59.0)
国連貿易開発会議 (UNCTAD)	15	9 (60.0)	15	7 (46.7)	14	6 (42.9)	12	5 (41.7)	14	7 (50.0)
国連開発計画 (UNDP)	53	32 (60.4)	63	34 (54.0)	72	43 (59.7)	76	45 (59.2)	68	39 (57.4)
国連人口基金 (UNFPA)	18	15 (83.3)	14	12 (85.7)	15	13 (86.7)	17	16 (94.1)	16	15 (93.8)
国連環境計画 (UNEP)	13	7 (53.8)	15	9 (60.0)	15	11 (73.3)	16	12 (75.0)	17	12 (70.6)
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	56	34 (60.7)	62	37 (59.7)	62	38 (61.3)	62	37 (59.7)	66	42 (63.6)
国連児童基金 (UNICEF)	52	38 (73.1)	68	53 (77.9)	83	63 (75.9)	86	64 (74.4)	78	58 (74.4)
国連工業開発機関 (UNIDO)	19	1 (5.3)	17	2 (11.8)	17	2 (11.8)	16	3 (18.8)	15	3 (20.0)
国連大学 (UNU)	4	1 (25.0)	5	2 (40.0)	6	3 (50.0)	6	2 (33.3)	6	2 (33.3)
アジア・太平洋経済社会委員会 (ESCAP)	14	9 (64.3)	15	10 (66.7)	16	11 (68.8)	15	11 (73.3)	18	12 (66.7)
国際労働機関 (ILO)	48	28 (58.3)	44	28 (63.6)	50	31 (62.0)	52	34 (65.4)	49	31 (63.3)
国際食糧農業機関 (FAO)	40	12 (30.0)	40	11 (27.5)	50	18 (36.0)	53	17 (32.1)	55	17 (30.9)
国連世界食糧計画 (WFP)	21	12 (57.1)	26	17 (65.4)	32	20 (62.5)	42	28 (66.7)	44	28 (63.6)
国連教育科学文化機関 (UNESCO)	52	32 (61.5)	59	35 (59.3)	58	37 (63.8)	69	46 (66.7)	62	42 (67.7)
世界保健機関 (WHO)	49	19 (38.8)	51	23 (45.1)	50	22 (44.0)	48	18 (37.5)	49	21 (42.9)
国際電気通信連合 (ITU)	7	1 (14.3)	10	2 (20.0)	9	1 (11.1)	8	0 (0.0)	8	0 (0.0)
その他	102	31 (30.4)	111	34 (30.6)	119	39 (32.8)	121	38 (31.4)	114	39 (34.2)
計	651	333 (51.2)	696	362 (52.0)	763	416 (54.5)	803	437 (54.4)	784	430 (54.8)

外務省調べ

2) 国連事務局における日本人職員に占める女性の比率(各年6月30日現在)

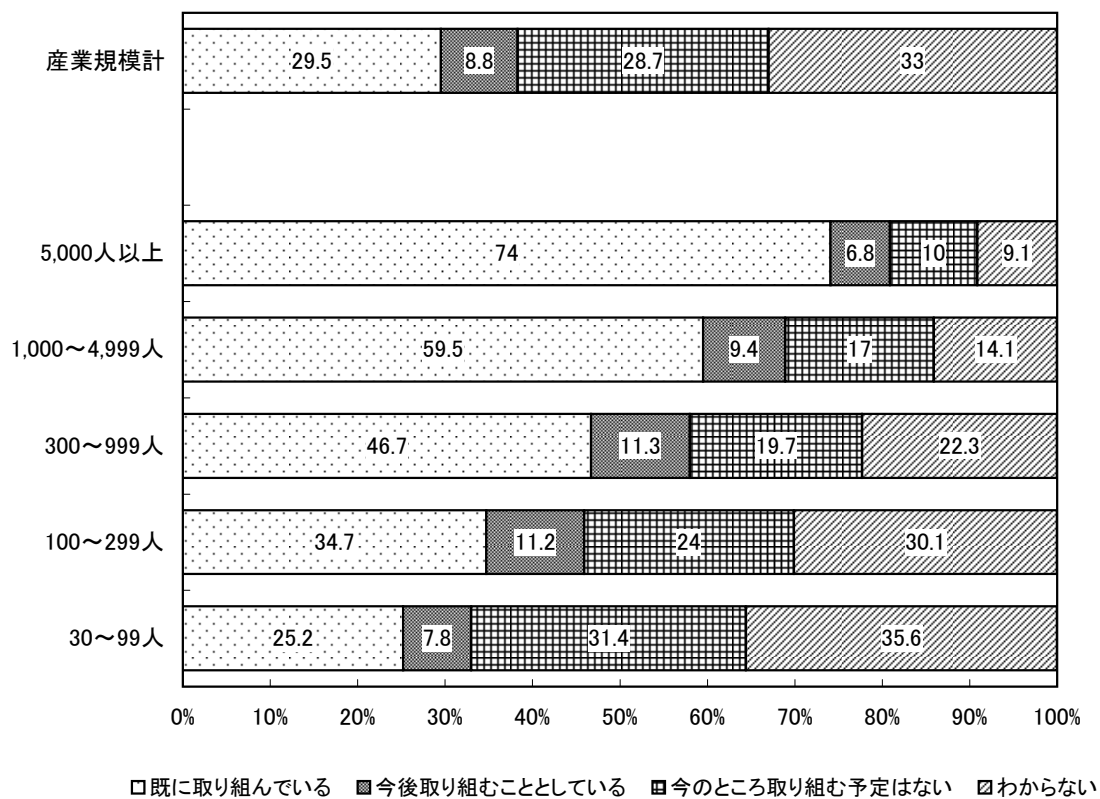
()内数値は%

2002年		2003年		2004年		2005年		2006年	
総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)	総数(人)	女性(人)
111	64 (57.7)	112	65 (58.0)	110	64 (58.2)	111	66 (59.5)	110	67 (60.9)

外務省提供(国連資料)

(第11条関係)

41. 規模別ポジティブ・アクションの取組状況



厚生労働省調べ

(注)2003年度

42. 男女別育児休業取得率

(%)

	休業を開始した者の男女比			出産した女性労働者に占める育児休業取得者の割合	配偶者が出産した男性労働者に占める育児休業取得者の割合
	計	女性	男性		
1996年度	100.0	99.4	0.6	49.1	0.12
1999年度	100.0	97.6	2.4	56.4	0.42
2002年度	100.0	98.1	1.9	64.0	0.33
2004年度	100.0	96.1	3.9	70.6	0.56

厚生労働省調べ

(注) 1996年度は、育児休業制度の規定がある事業所を対象としている。

(第12条関係)

43. 人工妊娠中絶実施件数・率(女子人口千対)

		総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
件 数	1955年	1,170,143	14,475	181,522	309,195	315,788	225,152	109,652	13,027
	1980年	598,084	19,048	90,337	131,826	177,506	123,277	50,280	5,215
	1985年	550,127	28,038	88,733	95,195	142,474	139,594	51,302	4,434
	1990年	456,797	32,431	86,367	79,205	98,232	101,705	54,924	3,753
	1995年	343,024	26,117	79,712	65,727	68,592	65,470	33,586	3,734
	2000年	341,146	44,477	82,598	72,626	61,836	53,078	24,117	2,287
	2001年	341,588	46,511	82,540	72,621	63,153	51,391	23,085	2,139
	2002年	329,326	44,987	79,224	68,766	63,293	49,403	21,618	1,885
	2003年	319,831	40,475	77,469	66,297	63,923	48,687	20,950	1,853
2004年	301,673	34,745	74,711	61,881	61,628	46,878	20,067	1,666	
率 (女子人口千対)	1955年	50.2	3.4	43.1	80.8	95.1	80.5	41.8	5.8
	1980年	19.5	4.7	23.3	29.3	33.2	26.8	12.0	1.3
	1985年	17.8	6.4	22.0	24.6	31.5	26.2	11.2	1.1
	1990年	14.5	6.6	19.8	19.7	25.4	22.7	10.3	0.8
	1995年	11.1	6.2	16.6	15.4	17.2	16.9	7.5	0.7
	2000年	11.7	12.1	20.5	15.4	14.5	13.2	6.2	0.5
	2001年	11.8	13.0	20.6	15.2	13.7	13.0	6.0	0.5
	2002年	11.4	12.8	20.3	14.8	13.5	12.1	5.6	0.5
	2003年	11.2	11.9	20.2	14.8	13.3	11.6	5.4	0.5
2004年	10.6	10.5	19.8	14.4	12.7	10.9	5.1	0.4	

(注)1955年は、戦後最高の数値

厚生労働省調べ

(第14条関係)

44. 農業就業人口等に占める女性の割合の推移

(単位:千人,%)

年	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005
農家人口	26,595	23,197	21,366	19,839	17,296	15,084	10,467	10,169	9,898	9,647	9,400	8,325
うち女性	13,739	11,955	10,966	10,177	8,875	7,741	5,338	5,194	5,056	4,926	4,801	4,232
女性の割合	(51.7)	(51.5)	(51.3)	(51.3)	(51.3)	(51.3)	(51.0)	(51.1)	(51.1)	(51.1)	(51.1)	(50.8)
農業就業人口	10,352	7,907	6,973	6,363	5,653	4,902	3,891	3,820	3,751	3,684	3,622	3,338
うち女性	6,337	4,932	4,300	3,885	3,404	2,861	2,171	2,126	2,083	2,039	2,000	1,780
女性の割合	(61.2)	(62.4)	(61.7)	(61.1)	(60.2)	(58.4)	(55.8)	(55.7)	(55.5)	(55.3)	(55.2)	(53.3)
基幹的農業従事者数	7,109	4,889	4,128	3,696	3,127	2,778	2,400	2,364	2,308	2,256	2,197	2,365
うち女性	3,857	2,591	2,092	1,826	1,505	1,289	1,140	1,112	1,074	1,042	1,013	1,094
女性の割合	(54.3)	(53.0)	(50.7)	(49.4)	(48.1)	(46.4)	(47.5)	(47.0)	(46.5)	(46.2)	(46.1)	(46.3)

農林水産省調べ

- (注) 1. 農業就業人口とは、16歳以上の世帯員(1995年以降は15歳以上の世帯員)で、
 自営農業だけに従事した者と、自営農業とその他の仕事の両方に従事した者のうち
 農業が主である者の合計をいう。
2. 基幹的農業従事者とは、農業就業人口のうち、普段の就業形態が「仕事の主」である
 世帯員をいう。
3. 1990年以降の農家人口は世界農林業センサスの農家の定義による数値である。
4. 1996年以降は販売農家の数値である。
5. 2005年は、2005年農林業センサス(概数値)である。

45. 農業委員会、農協、漁協への女性の参画状況の推移

(単位:人,%)

年度	1980	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004
農業委員数	65,940	64,080	62,524	60,917	59,254	58,801	58,613	57,875	56,348
うち女性	41	40	93	203	1,081	1,318	2,261	2,369	2,391
女性の割合	(0.06)	(0.06)	(0.15)	(0.33)	(1.82)	(2.24)	(3.86)	(4.09)	(4.24)
農協個人正組合員数	5,635,000	5,535,903	5,537,547	5,432,260	5,240,785	5,202,171	5,149,940	5,098,862	5,045,472
うち女性	497,000	574,353	667,468	707,117	746,719	769,748	783,806	787,965	786,357
女性の割合	(8.82)	(10.38)	(12.05)	(13.02)	(14.25)	(14.80)	(15.22)	(15.45)	(15.59)
農協役員数	81,059	77,490	68,611	50,735	32,003	29,154	26,076	24,786	23,742
うち女性	29	39	70	102	187	213	266	300	364
女性の割合	(0.04)	(0.05)	(0.10)	(0.20)	(0.58)	(0.73)	(1.02)	(1.21)	(1.53)
漁協個人正組合員数	409,960	381,758	354,116	317,553	275,715	267,381	260,286	252,330	244,335
うち女性	19,944	21,180	20,425	18,337	15,655	15,289	15,145	15,426	15,373
女性の割合	(4.86)	(5.55)	(5.77)	(5.77)	(5.68)	(5.72)	(5.82)	(6.11)	(6.29)
漁協役員数	23,224	22,563	22,022	20,449	17,974	17,381	16,401	15,705	15,105
うち女性	10	13	22	29	43	47	49	48	50
女性の割合	(0.04)	(0.06)	(0.10)	(0.14)	(0.24)	(0.27)	(0.30)	(0.31)	(0.33)

農林水産省調べ

- (注) 農業委員:各年8月1日現在、ただし、1990年以降は10月1日現在
 農協:各事業年度末(農協により4月末~3月末)現在
 漁協:各事業年度末(漁協により4月末~3月末)現在

(第16条関係)

46. 配偶者からの暴力(殺人、傷害及び暴行)の検挙状況(全国)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
殺人	191	197	215	206	218
うち 夫から妻	116	120	133	127	126
全体に占める割合	60.7%	60.9%	61.9%	61.7%	57.8%
傷害	1,097	1,250	1,269	1,198	1,342
うち 夫から妻	1,065	1,197	1,211	1,143	1,264
全体に占める割合	97.1%	95.8%	95.4%	95.4%	94.2%
暴行	156	219	234	290	379
うち 夫から妻	152	211	230	284	359
全体に占める割合	97.4%	96.3%	98.3%	97.9%	94.7%
合計	1,444	1,666	1,718	1,694	1,939
うち 夫から妻	1,333	1,528	1,574	1,554	1,749
全体に占める割合	92.3%	91.7%	91.6%	91.7%	90.2%

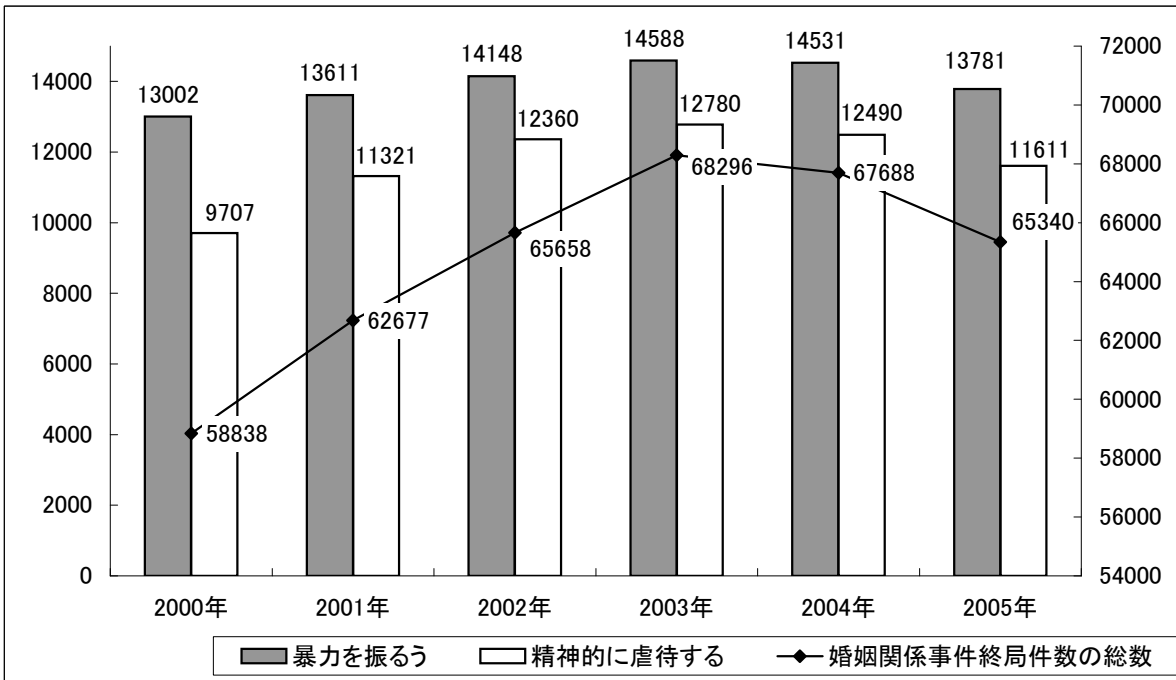
警察庁調べ

注1: 配偶者には、内縁を含む。

注2: 解決事件を除く。なお、解決事件とは刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件をいう。

注3: 本件事件は、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では囑託殺人、保険金目的殺人等多様なものが含まれている。

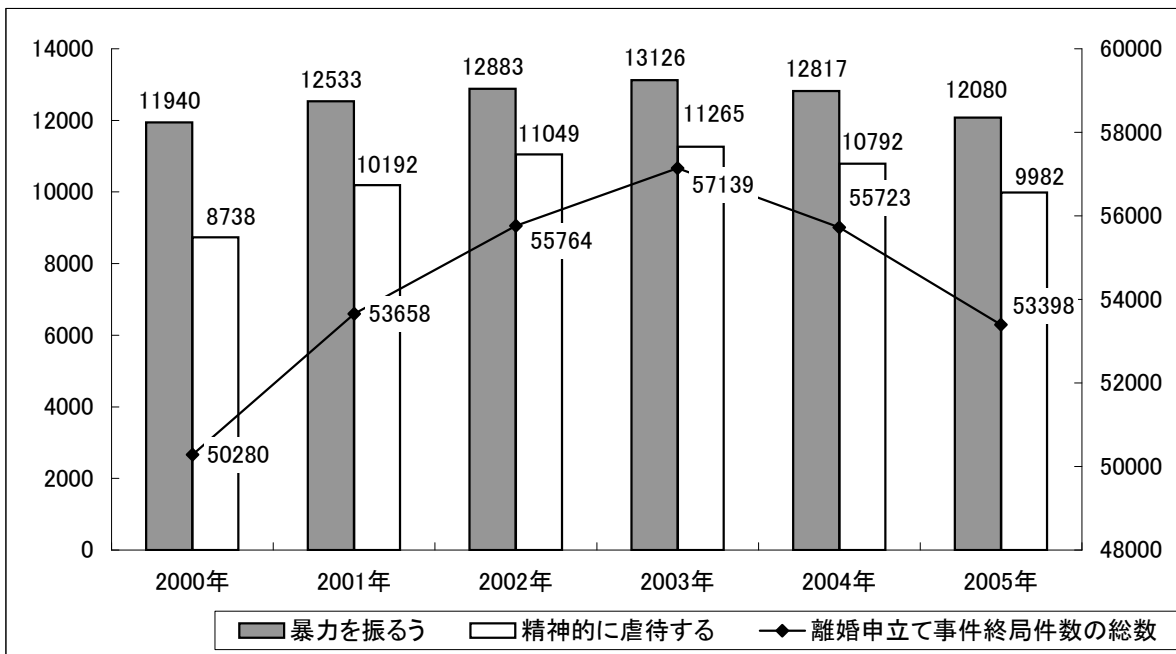
47. 婚姻関係事件終局件数の総数及び夫からの暴力・精神的虐待を理由とする妻からの申立てによる婚姻関係事件終局件数



法務省提供

※ 2005年の数値は速報値である。
2001年の数値は、前回掲載当時速報値であり、その後数値の変動があったので、変動後に差し替えている。

48. 離婚申立て事件終局件数の総数及び夫からの暴力・精神的虐待を理由とする妻からの申立てによる離婚申立て事件の終局件数



法務省提供

※ 2005年の数値は速報値である。
2001年の数値は、前回掲載当時速報値であり、その後数値の変動があったので、変動後に差し替えている。

49. (妻が申し立てた)婚姻関係事件(終局事件)における申立人年齢別申立動機(2005年)

	終局事件総数	性格が合わない	異性関係	暴力を振るう	酒を飲み過ぎる	浪費する	異常性	精神的に虐待する	家庭を省みない	家族と折合い悪い	生活費を渡さない
総数	46,447 100.0%	20,392 43.9%	12,325 26.5%	13,781 29.7%	4,356 9.4%	7,754 16.7%	4,139 8.9%	11,611 25.0%	6,039 13.0%	4,450 9.6%	11,027 23.7%
30歳未満	9,721 100.0%	4,394 45.2%	2,770 28.5%	2,998 30.8%	657 6.8%	1,782 18.3%	880 9.1%	2,262 23.3%	1,393 14.3%	1,058 10.9%	2,071 21.3%
30歳代	18,761 100.0%	8,416 44.9%	5,029 26.8%	5,314 28.3%	1,493 8.0%	3,220 17.2%	1,556 8.3%	4,766 25.4%	2,468 13.2%	1,773 9.5%	4,100 21.9%
40歳代	10,284 100.0%	4,538 44.1%	2,454 23.9%	2,894 28.1%	1,127 11.0%	1,672 16.3%	890 8.7%	2,650 25.8%	1,310 12.7%	1,013 9.9%	2,703 26.3%
50歳代	5,249 100.0%	2,088 39.8%	1,413 26.9%	1,639 31.2%	750 14.3%	808 15.4%	499 9.5%	1,327 25.3%	636 12.1%	437 8.3%	1,520 29.0%
60歳代	1,920 100.0%	759 39.5%	517 26.9%	731 38.1%	272 14.2%	219 11.4%	245 12.8%	480 25.0%	179 9.3%	132 6.9%	513 26.7%
70歳以上	506 100.0%	197 38.9%	142 28.1%	205 40.5%	57 11.3%	53 10.5%	69 13.6%	126 24.9%	53 10.5%	37 7.3%	120 23.7%

※ 数値は速報値である。

※ 申立動機については、一事件につき複数の回答がある。

法務省提供